

3. 質疑応答

参加者からの意見：建築協定（街並みづくり等のルール化）は、瑞慶覧地区においても重要と考えている。このため、建築協定を結んでいる先進地に行って勉強することが必要である。その際には、出来あがりを見るだけでなく、協定を作るまでにどんな問題点があったのか、どう解決したかといった行程を知ることも重要である。



回答：建築協定などのルールについては、勉強会の今後の検討課題として取り組んでいきたいと考えている。また、本日の活動報告（まちづくり体制の検討）につながる話であるが、例えば、建築協定を勉強する際に、専門の方を呼んでいろいろ教えてもらうとか、お互いが今疑問に思っていることを一緒に勉強していったりして解決して、そして良いまちづくりをみんなでしていこう、というような活動体制が大事だと思っている。勉強するという意味でも、情報交換して議論の活性化を図るという意味でも、非常に良いご意見だと思う。

参加者からの意見：勉強については、地主としても大変重要なことなので、ただ文書が来たからじゃあ行こうかじゃなくて、他の地主の方々にも声かけるなりして是非まちづくりに参加していきたいという気持ちを持っている。地区の傾斜地や、湧水の利用ということで、勉強会や懇談会で色々提言しようかなと思って色々メモしているが、これはまた後日話したいと思う。



回答：貴重なご意見ですね。その他、この場では話しづらいことや、細かく聞きたいことがあれば、相談会（2月18日～20日）であったり、市役所への来庁、または電話でお聞かせ願いたい。

4. 地主会会長のあいさつ

今年度の活動では、沖縄でまだ例がないというアイデアコンペを募集しました。その結果として、私が期待した以上に、多くの方から素晴らしいアイデアが集まりました。

まだ返還の期日が分からないものですから、応募作品に書いてあるような建築協定を作る段階ではありませんが、勉強会などを通して、しっかりと考えをまとめていく必要があります。新しいまちづくり体制についても、これから継続して勉強していきますが、いずれ、地権者会や協議会とかいろいろな名称の組織を作って、そこで様々なルールや制限が決定されていくわけですね。返還後のまちづくりは、おそらく私たちの子や孫が担っていくんじゃないかなと思いますが、そのあたりを考えつつも、皆様一人ひとりの意向を、アンケート調査を通じて出していただきたい。皆様の意向はまちづくりの大きな力です。

これからも、どうぞご協力、またご指導のほどよろしく申し上げます。

**今回の懇談会の参加者は32名（代理を含む）でした。
今後も、まちづくり活動への参加など、ご理解とご協力をよろしくお願いします。**

ニュース等に関する問い合わせ

宜野湾市基地政策部基地跡地対策課 担当：新垣、名幸
TEL：098-893-4401（直通） FAX：098-892-7022

キャンプ瑞慶覧返還予定地区 まちづくりニュース

発行：宜野湾市基地政策部基地跡地対策課 2009年2月 Vol. 21
TEL 098-893-4401（直通）

《本号の概要》

今年度の活動の経過をご確認ください。

キャンプ瑞慶覧返還予定地区では、『いつ返還されても円滑なまちづくりが出来る用意を整える』ために、毎年、まちづくり活動を行っています。

平成21年2月12日（木）には、【平成20年度 第2回まちづくり懇談会】を開催し、今年度活動の経過報告等を行いました。

- 開会のあいさつ
- 今年度のまちづくり活動の報告について
- アンケート（意向）調査の実施について
- 近日中に開催するイベント・会合について
- 質疑応答
- 地主会会長のあいさつ

本号では、会議の結果を簡単にご報告します。

会議風景



地主会会長挨拶



1. 開会のあいさつ（市基地政策部より）

今回は、今年度の活動経過報告ということで、まちづくりアイデアコンペに関することを中心に報告させていただきます。

アイデアコンペでは、海外からも含めて、多くの応募作品があったわけですが、傾斜地が多い特性を踏まえて、高低差をうまく活かした提案や、海への眺めを大事にしている提案など、色々素晴らしい提案がなされておりまして。

そのなかでも、みんなでどういう街をつくっていくか、という「建築協定（ルール）」を作るという提案がありまして、これについては、非常に大事なことだと思います。特徴的なまちづくりを実現するためにも、今後その件について、地主の皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。

その他、アンケート調査の実施なども含めて、報告・提案させていただきますので、ご意見等、どうぞよろしく申し上げます。

2. 今年度のまちづくり活動の報告（アイデアコンペの開催）

- 今年度の活動の目玉として、地主参加機会を積極的に設けながら取り組んできました。
- アイデアコンペとは、いろいろな人からまちづくりのアイデアを聞き、これを参考に、より良い跡地利用計画へ発展させることを目的としています。
- 既に、入賞作品が決まり、あとは表彰式を開催するだけです。

アイデア募集の対象地域は？



特徴的な2つの地域で
広くアイデアを募集

【募集テーマA】
ぎのわん多自然型住宅地

【募集テーマB】
瑞慶覧ハウジングエリア

応募作品数は？

ぎのわん多自然型住宅地
計 34 作品

瑞慶覧ハウジングエリア
計 19 作品



県内外・海外から
計 53 作品！

入賞作品は？

ぎのわん多自然型住宅地
★優秀賞 3 作品
★地主会特別賞 1 作品

賞金総額
70 万円！

★審査委員会で「優秀賞」を決定！
★地主投票結果をもとに「地主会特別賞」を決定！



瑞慶覧ハウジングエリア
★優秀賞 3 作品
★地主会特別賞 1 作品

- 作品集については、市基地跡地対策課で、自由に閲覧することができます。
- 入賞から漏れた作品にも優れた点は多々あります。これらのアイデアを参考に、来年度は、跡地利用計画のグレードアップを図ります！

〃 今年度のまちづくり活動の報告（アイデアコンペの開催 ※続き）

有終の美を飾るために… 2月26日の表彰式開催について

- 2月26日に入賞者を招いて表彰式を行います。その際、作品に対しての想いを話していただくとともに、審査委員長（琉球大学 安藤准教授）には、当コンペの講評をしていただきます。

表彰状

- いずれも瑞慶覧のことを真剣に考えてくれた方々です。瑞慶覧のまちづくりを成功させるためには、このような「まちづくりのサポーター（応援者）」を増やすことも重要です。
- ぜひ皆さんも出席し、入賞者らをあたたかく迎えてあげましょう！

〃 今年度のまちづくり活動報告（まちづくり体制の検討）

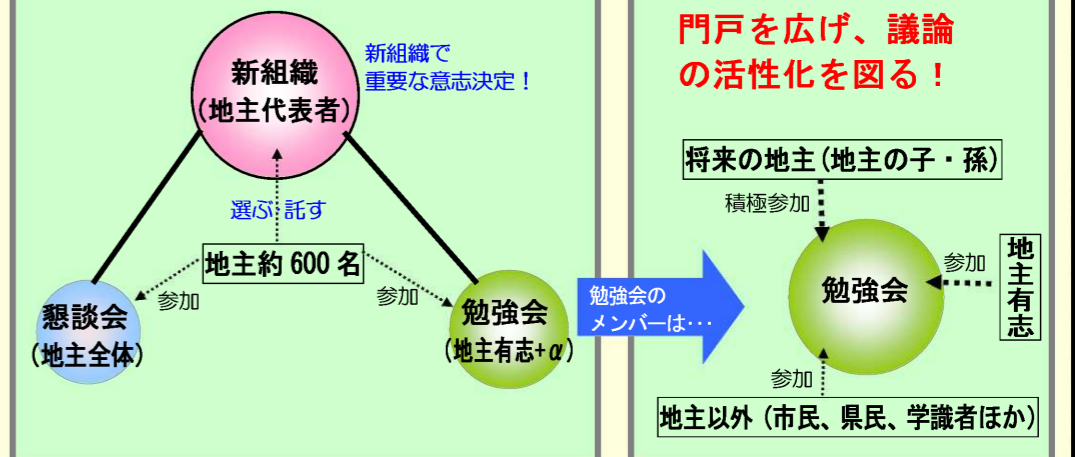


勉強会での検討風景

- 瑞慶覧地区では、「勉強会」と「懇談会」を組織し、地主会が前面に立って、まちづくり活動を進めてきました。
- この体制により、まちづくりに対する地主の皆さんの理解が深まるなど、成果をあげていますが、さらに良くする余地もあります。
- 今回の会議では、「新しいまちづくり体制」について、勉強会での検討結果を報告しました。

「勉強会」での
検討経過を報告！

★「顔」となる組織を新たに作り、
これを中心に活動を進める！



★「勉強会」では、
門戸を広げ、議論
の活性化を図る！

今後の
展望は…？

- 今回示したのは、あくまで勉強会での検討経過であり、今すぐこれで行こう！というものではありません。
- 今年度のアンケート調査で、地主全体の意見も伺った上で、来年度以降、さらに検討を進めていきます！